

【470 級】の最も一般的な規則 42 違反

これはジャッジとセーラーのためのガイドである

原則:

ジャッジはセーラーに対して疑わしきは罰せず、であるが、セーラーが規則 42 に違反していると確信した場合、規則を守っているセーラーを保護するために行動しなければならない。

規則 42 に影響のあるクラス規則:

C 節-レースでの条件

C.1 全般

C.1.1 規則

(a) 次の RRS 2009-2012 の規則を、下記に修正して適用しなければならない:

- (1) デッキのレベルで測定した平均風速が 8 ノットを超える場合には、レース委員会は、スタート信号後のパンピング、ロッキング、ウーチングを認めることができる (RRS42.2(a)、RRS42.2(b)、RRS42.2(c)の変更)。その際の信号は RRS の規則 P5 に従って行われる。
- (2) トラピース・システムを使用することができる (RRS49.1 の変更)。

クラス特有のテクニックと違反:

規則 42 の緩和を 8 ノットで適用できるように引き下げた結果、4 から 8 ノットの非常に狭い風域でジャッジは規則 42 を取り締まる。滑らかなボートハンドリングが、セールの空気の流れの維持するために良いとして、この風域でトップセーラーは力強い動きはしない。8 ノットを超える風で O 旗が掲示された場合、470 セーラーは、スタート信号までは通常の規則 42 により制限されるが、スタート信号後は、上り下りの両方でパンピング、ロッキング、ウーチングをすることができる。スカリング禁止は常に適用され、繰り返しのタックまたはジャイブ、またはボートを推進する 1 回のアクションは緩和されない。セーラーにとっての主要な問題は、風が 8 ノットを越えたのに、O 旗が掲揚されていない場合に発生する。彼らは無意識のうちに下記の禁止行為のいくつかをし始める。

スタート

1. 1 回のロール

スタート時の 1 回のロールで艇を推進してはならない。

許される行動:

- パドルひとかきの効力を持たない 1 回のロール

禁止される行動:

- パドルひとかきの効力を持つ、艇を推進する 1 回のロール - 基本 4
- 艇を繰り返しローリングさせること - 42.2(b)(1)

証拠の収集:

- セーラーが、艇のロールを引き起こしているか?
- 1 回のロールは、パドルひとかきの効力を持っているか?
- ローリングは(複数回)繰り返されているか?

2. スカリング

軽風下で、特にスタート・ライン上で艇が他艇に挟まれた場合、スカリングしやすい。

許される行動

- たとえ力強くても、艇がクロスホールドのコースより風上であり、明らかにクロスホールドのコースへの方向転換をしている場合のスカリング - 42.3(d)、スカル1
- 減速のために舵を繰り返して動かすこと - 42.3(e)

禁止される行動

- 艇が直ちに風位に立つのを止めるため、または他艇の風下に滑り込むための、クロスホールドのコースより風下でのスカリング
- 左右両方向への力強いスカリング - スカル2

証拠の収集

- ティラーの動きは力強いのか？
- 艇を前進させているか、後進しないようにしているか？
- 艇はクロスホールドのコースより風上であり、明らかにクロスホールドのコースに方向を変えているか？
- 前のスカルを打ち消すようなスカリングか？

アップウインド

1. ボディー・パンピング

7-8 ノット、または 8 ノット超の風域で 0 旗が掲揚されていない場合、スタート・ラインを離れる際、または風上へのビートにおいて見られ、主にクルーによるトラピーズでのボディー・パンピングを指す。

許される行動

- 波に合わせて艇のトリムを変えるための身体の前後の動き - ウーチ1

禁止される行動

- トラピーズ上のクルーの足の伸縮、または上半身の過度なトルキングにより、リーチのフリックを繰り返し引き起こすボディー・パンピング - パンプ 6

証拠の収集

- 波があるか？
- セーラーの身体の動きは波に合っているか？
- セーラーの身体の動きはリーチのフリックを引き起こしているか？
- フリックとセーラーの身体の動きは関連付けられるか？
- フリックは繰り返されているか？
- リーチのフリックは、波により起きていないか？
- 他艇と比較してどのように見えるか？

2. シート・パンピング

風が 6-8 ノットの状況では、ヘルムスマンは風の振れ、ガスト(風の一吹き)、または波に合わせるのではなく、リズムカルにメインシートをパンピングする。

許される行動

- 風の振れ、ガスト(風の一吹き)、または波に合わせてセールを引き込んだり緩めたりすること - **パンプ2**

禁止される行動

- 風の振れ、ガスト(風の一吹き)、または波に合わせるのとは関係なく、セールを引き込んだり緩めたりすること - **パンプ1**

証拠の収集

- 引き込みと緩めは、風の振れ、ガスト(風の一吹き)、または波に合わせたものか？
- 繰り返しの引き込みと緩めは、セールをファンニングしているか？

3. ロール・タック

特に軽風下では、大きく目立つロール・タックが見られる。シュラウドにぶら下がっているクルーによりロールが大きくなっているタックの間、セーラーはの身体を力強く動かす。

許される行動

- タックの間の艇の操舵を容易にするためにローリングを大きくして、タックを完了した時にタック直前と同じスピードになるような身体の動き - **ロック8**

禁止される行動

- 艇のスピードがタック完了直後に増加するように、タックの間に大きなローリングをさせる身体の動き

証拠の収集

- 各々のタックは艇を増速させたか？
- セーラーの身体の動きは艇を増速させたか？
- タック後の増速に続き、突然明らかに減速したか？

ダウンウィンド

1. パンピング

ダウンウィンドとリーチレグでのスピネーカーのパンピングは、セーラーはそれをトリムとして正当化しようとするが、470級の最も一般的な違反の一つである。

許される行動

- その時の状況に合わせて、艇をトリムするためのセールの引き込み - **パンプ2**
- サーフィングまたはプレーニングを開始するために一波またはガスト(風の一吹き)に1回、一方のセール、または同時に両方のセールをパンプすること。ただし、艇がサーフィングと認められるためには、急に加速しながら波の風下側を下るものでなければならない。 - **42.3(c)**

禁止される行動

- セールをファンニングさせるための引き込み - **パンプ1**
- スピネーカーがつぶれたり、過度のトリムをして、それを適正にするために繰り返しリズムカルに行なうスピネーカーのパンピング - **パンプ1**
- メインセールのバテンの反転を戻そうとする繰り返しのパンピング - **基本3**
- 微風下で、サーフィングまたはプレーニングを開始するためではなく、繰り返しスピネーカーを艇から離して飛ばし、力強くパンプすること - **パンプ1**
- サーフィング中またはプレーニング中のパンピング
- サーフィングまたはプレーニングを開始するためにヘルムスマンがメインセールを1回パンプして、すでにサーフ

イング中またはプレーニング中になってから、続いてスピネーカーをパンプすること

証拠の収集

- サーフィングまたはプレーニングできる状況か？
- 一波またはガスト(風の一吹き)につき1回のパンプは、サーフィングまたはプレーニングを開始しているか？
- 艇は、サーフィング中またはプレーニング中にパンプしているか？
- 引き込みと緩めは風の振れ、ガスト(風の一吹き)、または波に対応しているか？
- 繰り返しの引き込みと緩めで、セールをファンニングしているか？

2. ロッキング

470 級のロッキングは、通常規則的なパターンで発生し、艇の反対側に座っているヘルムスマンとクルーの両方の繰り返しの身体の動きで起こる。

許される行動

- 艇の復元性が減少しても乗員が固定された位置をとること - ロック 4

禁止される行動

- ヘルムスマンとクルーが艇の反対側に座り、ローリングを大きくしたり、バックグラウンド・ローリングを助長したりするローリング - 42.2(b)(1)

証拠の収集

- セーラーは、復元性が減少しても艇の適正なトリムを取り戻そうとしているか？
- セーラーは、艇のロールを引き起こしているか？
- ローリングは繰り返されているか？

助言

1. 質問しよう。
2. もしあなたがテクニックについて自信がない場合には、他のセーラーもその答えを活用できるように、紙に書いて説明をお願いしよう。
3. イエローフラッグ・ペナルティーを受けた場合、あなたがしてよいことと、してはいけないことの説明を、ジャッジに質問しよう。
4. より重要な大会では、セーラーに対するジャッジの比率が高い。よって、実際起こるとき、あなたの帆走テクニックはしっかり見られていることを覚えておこう。

この文章は、ガイダンスとしてのみ位置づけています。公式文章は、「ISAF の解釈」です。